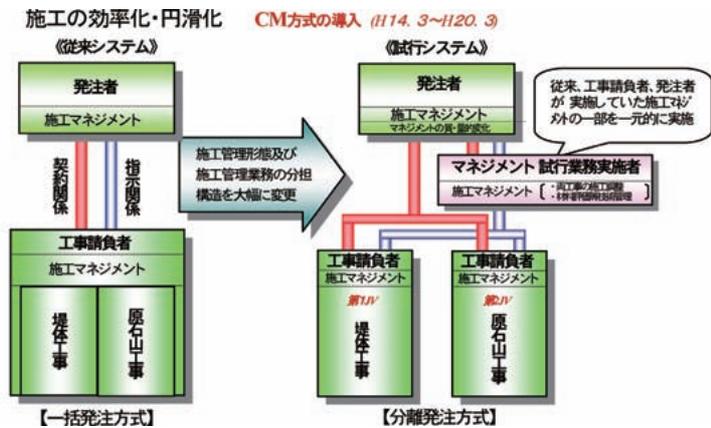


【河川部門】

事業名 米代川森吉山ダム建設事業
 受賞機関 国土交通省東北地方整備局森吉山ダム工事事務所
 実施期間 昭和48年4月1日～平成24年3月31日



堤体及び貯水池全景



〔事業概要と評価〕

当該ダムでは、技術的競争による品質の保持等の観点から分割発注した堤体工事と原石山工事に対し、ダム本体工事としては初めての試みとして、ダム実務経験の豊かな業務実施者を介在させ、民間のマネジメント技術を活用したことにより、施工調整、工程管理、品質向上を円滑に進めることが出来たことは高く評価できる。

賛助会員：いであ(株)、(株)エイト日本技術開発、(株)クレアリア、(株)建設技術研究所、五洋建設(株)、佐藤工業(株)、新日本製鐵(株)、セントラルコンサルタント(株)、(株)長大、(株)東京建設コンサルタント、日本国土開発(株)、(株)間組、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)福山コンサルタント、(株)フジタ、復建調査設計(株)、三井共同建設コンサルタント(株)、三井住友建設(株)、三井造船(株)

事業名 湯西川ダム建設事業
 受賞機関 国土交通省関東地方整備局湯西川ダム工事事務所
 実施期間 昭和57年4月～平成24年3月



湯西川ダム全景



打設状況全景

〔事業概要と評価〕

当該ダムは、現地条件から基礎掘削量の増加、それに伴う本体コンクリート量の増加を余儀なくされたことから、打設工期短縮が可能な「巡航RCD工法」を採用した。施工に当たっては、更なる合理化のために「巡航RCD工法」の発展に取り組み、1リフト全面打設を可能とする技術を研究・開発した。その成果をダム本体施工に適用し、我が国で初めて1リフト全面連続施工を標準化し、ダム本体工の飛躍的な高速化、施工性及び安全性の向上に貢献したことは高く評価できる。